

ロシア為替週報

2023年5月15日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(5月6日～5月12日)

USD/RUB: 75.2325～78.4900

先週1週間のロシア・ルーブル相場は反落。週前半は対ドルで続伸し、1ドル77ルーブル台から1ドル75ルーブル台前半まで上昇したものの、その後は反落し、1ドル78ルーブル台手前の水準で引けている。週後半の下落に関しては、グローバルなドル高の動きの裏返しとも、ブレント先物をはじめとする原油価格の反落の影響とも解釈することができよう。

経済指標では4月分の消費者物価指数が公表された。前年同月比+2.31%と3月分の同+3.51%から一段と低下した。前年比で見たインフレ率の大幅低下は、昨年比較時点の物価水準の高さに起因している(ロシアのウクライナの侵攻を受けた欧米による経済制裁の発動もあり、ルーブルが一時的に急落したことによって輸入価格が急騰した)。大幅なインフレ低下は、ロシア中央銀行(CBR)による利上げ再開を遅らせる要因にもなりうるが、CBRはタカ派姿勢を崩そうとはしないだろう。(1)4月のルーブルの大幅な下落の影響が時間差を伴ってインフレ押し上げに寄与する可能性が高いこと、(2)労働力不足によるサービス価格の押し上げ圧力、(3)天候不順による穀物の不作、といった要因が先行きのインフレ押し上げ要因として効いてくる可能性が高いためだ。

先週9日はロシアの戦勝記念日だった。第2次大戦でナチス・ドイツに勝利したことを祝い、軍事パレードを行うロシアにとって重要な日だが、注目を集めたのはCIS(1991年のソビエト連邦崩壊後に旧ソ連加盟国で結成した国家の連合体)9か国のうち、7か国の首脳が出席したことである。昨年はCIS首脳は招待されず、今年もキルギスタンの大統領のみ招く予定だったが、急遽、タジキスタン、アルメニア、ウズベキスタン、トルクメニスタン、ベラルーシ、カザフスタンの国家元首が招かれることとなった。はっきりとウクライナ支持を表明しているモルドバ及び、国内での祝祭と重なったアゼルバイジャンの国家元首は招かれなかった。直前にロシア大統領府に対するドローンでの攻撃があったばかりのタイミングで招待した国家元首に何かが起これば、ロシア政府としては面目がつぶれるリスクがあったものの、それでも招待したことは、「ロシアは孤立していない」ことを内外に示す意味合いがあったものと考えられる。＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/12	17:00	CPI(前年比)	4月	2.4%	2.31%	3.51%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(5月13日～5月19日)

USD/RUB: 75.00～82.00

中長期的なルーブル安方向への展開が続くという見方に変わりはない。(1)経常収支や財政収支など通貨ファンダメンタルズの悪化が鮮明となっていることが最大の理由である。G7などが経済制裁として科しているロシア産原油の輸入価格の上限設定措置を考慮すれば、ロシア産原油が国際的な指標であるブレントと比較して割安な水準で取引されることは避けられず、原油収入のアップサイドも限定的となろう。(2)また、海外への資金流出も継続する公算が大きい。もちろん、海外の投資家や企業がロシア国内から資金を海外に持ち出すことは厳しく制限されている。むしろ注目を集めているのは、ロシアの個人や企業が友好国に自らの資産を移そうとする動きや、ロシアの輸出企業が稼いだ外貨を国内に還流させずに国外に滞留させる動きである(外貨売り/自国通貨買いのフロー減少につながる)。アップサイドリスクとしては、ロシア中銀の追加利上げ観測が挙げられるものの、金利収入を目的とする海外からの資金流入が見込めない以上、ルーブル安圧力を食い止めるには力不足であろう。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

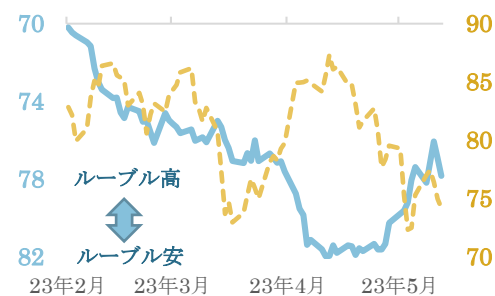
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/15	14:00	外貨準備高	5/5			\$598.9b
5/17	17:00	GDP(前年比)	Q1	-2.2%		-2.7%
5/18	14:00	外貨準備高	5/12			

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

ロシア・ルーブルの推移

ルーブル対ドルレート(左軸、逆目盛)

ブレント先物価格(右軸)



原油価格の推移

実線:ウラル産原油価格

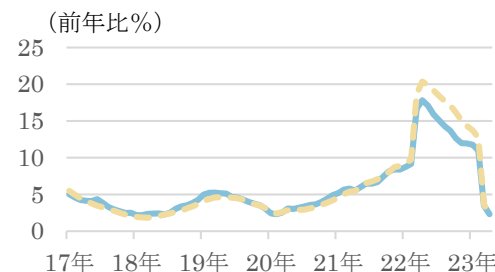
点線:ブレント先物価格(右軸)



ロシア 消費者物価指数(CPI)

実線:ヘッドライン

点線:コア指数



(資料: ロシア統計局/ブルームバーグ)

＜文責＞

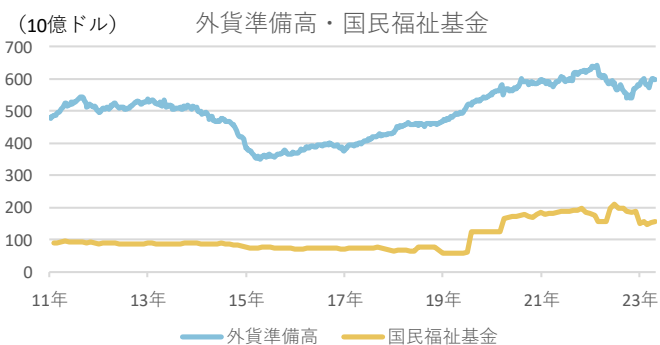
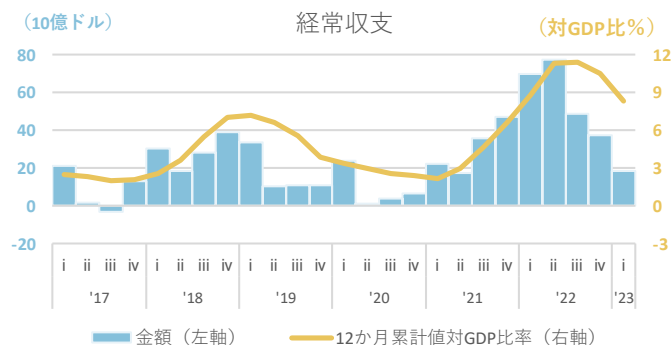
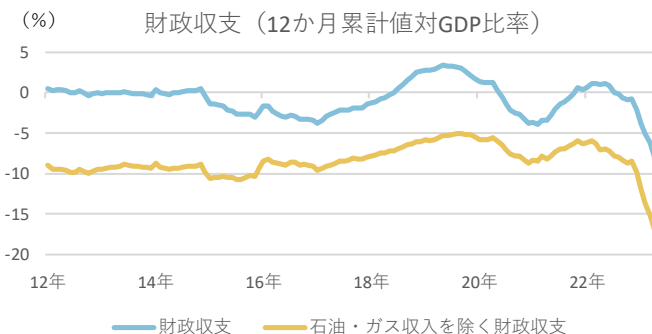
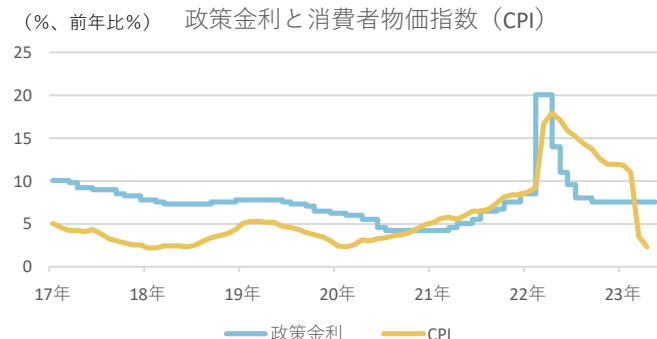
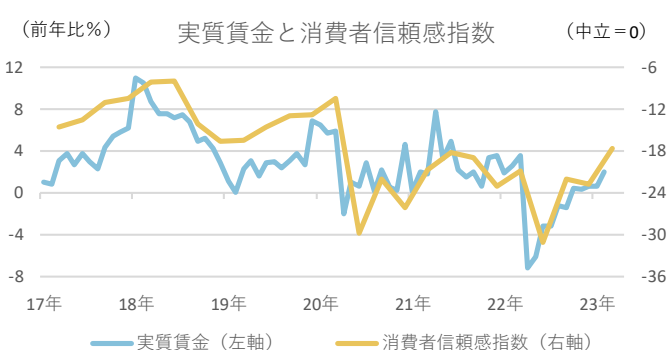
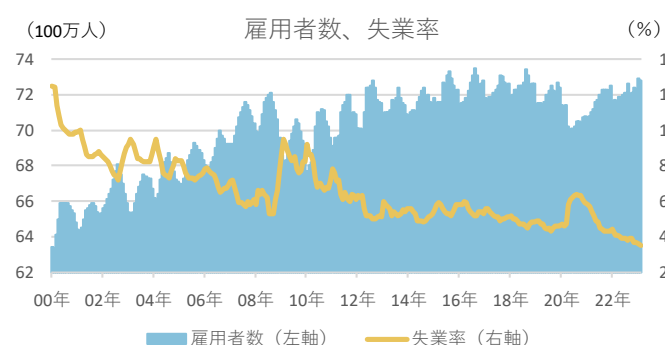
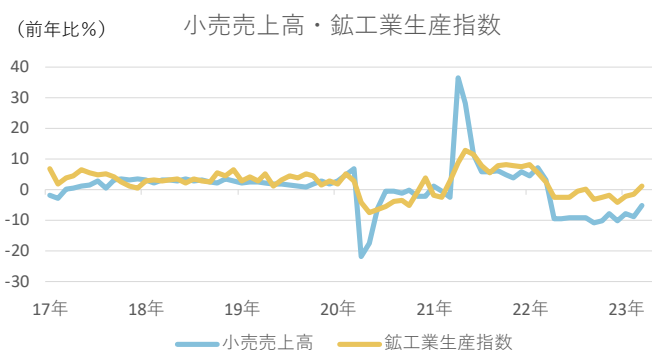
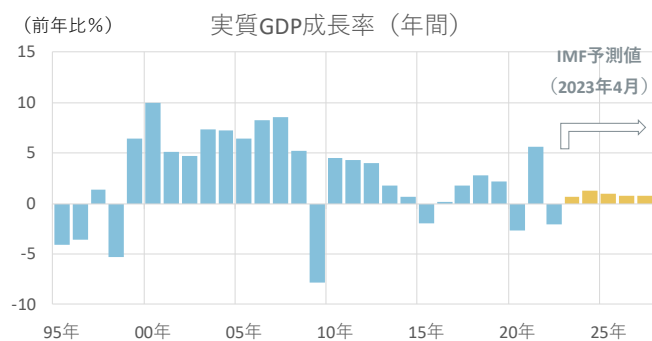
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料 ロシア中央銀行/ロシア統計局/ロシア財務省/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。